

## 月報 601号～700号の総目録と索引

### 「専修大学社会科学研究所月報目録」

(No.601・602：2013年7月・8月～No.700：2021年10月)

#### 2013年度

No.601・602 2012年度春季実態調査（愛媛・徳島）特集号

—2013年2月24日～27日—（7月・8月合併号）

社会科学研究所 2012 年度春季実態調査行程	小池 隆生
地域経済発展のための現地経営者の理念と行動について	飯田 謙一
別子銅山の歴史と山を拓き支えた人々	
——別子銅山記念館訪問の記録から——	樋口 博美
多様な主体の交流による地域づくりの可能性	
——成果の個別性と仕組みの共通性——	金井 雅之
四国中央市産業活力部産業支援課	町田 俊彦
四国中央市紙産業と大王製紙三島工場	宮寄 晃臣
ケーススタディ：後発ブランド「エルモア」	梶原 勝美
宮内紙工を訪ねて	村上 俊介
「創造的過疎化」という地域再生：	
徳島県神山町おける NPO グリーンバレーによる地域再生の試み	広瀬 裕子
工芸農産物の商品学的アプローチ—阿波和三盆糖を中心に—	佐藤康一郎
徳島県の伝統産業である鳴門足袋のあゆみ	鈴木奈穂美
持続可能な地域社会創造の取り組み	
—徳島県勝浦郡上勝町における「彩」事業を中心として—	石川 和男
No.603 中国の地域間経済力と財政力格差実態に対する基礎的考察	
—県レベルのデータを中心に	徐 一睿
No.604 特別研究助成「若年・青年層の不安定就労ならびに社会保障制度の現状」	
2012 年度報告（3）	
静岡調査覚書—若者の自立と就労支援の課題—	高橋 祐吉
No.605 “GOLD” POPULATION STRUCTURE AND SOCIAL SECURITY ISSUES OF VIETNAM: OPPORTUNITIES AND CHALLENGES	
Prof, Dr. Nguyen Dinh Cu, Dr. Tran Thi Nhung	
再考：マーケティング生成論＜補遺＞	梶原 勝美

No.606・607 2013 年度夏季実態調査（ベトナム）特集号

—2013 年 9 月 2 日～9 日—（2013 年 12 月・2014 年 1 月合併号）

I シンポジウム編

2013 年度夏季実態調査（ベトナム）開催報告

I. 記念シンポジウムの開催に向けて

佐藤康一郎

II. ベトナム社会科学院、東北アジア研究所

嶋根 克己

日本とベトナムにおける社会関係資本と市民社会

村上 俊介

日越外交関係樹立 40 周年記念シンポジウムに参加して

原田 博夫

課題先進地域四国地方における第 6 次産業化

佐藤康一郎

東南アジアでの中国の援助とその影響—ベトナム・シンポジウム報告

稲田 十一

東南アジアにおける地域統合—新たな枠組みとなり得るか—

飯沼 健子

日本財政の現状と課題—国際比較の観点から—

町田 俊彦

長崎市水の浦地区における斜面地居住の実態

—日本の 2030 年を考える—

福島 義和

高齢者ケアの現場—ティエンドウック高齢者ケアセンターを訪ねて—

馬場 純子

II 実態調査編

東アジア観光市場におけるベトナムの位置と今後の研究課題

金井 雅之

在ベトナム日系企業の経営管理と現地人従業員の企業や職場に関する

意識・意見調査序論

飯田 謙一

ベトナム訪問記—シンポジウムと町工場—

柴田 弘捷

ケーススタディ：ベトナムのブランド「ハプロ」＜補遺＞

梶原 勝美

塀の外から見たベトナム経済

熊野 剛雄

ベトナムの手工芸をめぐる生活とその支援

—ベトナム手工芸品見聞録から—

樋口 博美

No.608 タイ王国における社会関係資本の実態—アンケート調査を分析して— 丸茂 雄一

No.609 ASEAN and its Regional Integration from the Perspective of “Regionness”

Takeko IINUMA

## 2014 年度

- No.610 愛媛県東予地方 4 工業都市の社会・都市構造 (1)  
—今治市、新居浜市、西条市、四国中央市の比較— 柴田 弘捷
- No.611・612 2013 年度春季実態調査 (飯田市・阿智村) 特集号  
—2014 年 2 月 25 日～27 日— (2014 年 5 月・6 月合併号)
- 社会科学研究所 2013 年度春季実態調査行程 大矢根 淳  
専修大学社会科学研究所 2013 年度春期合宿研究会 (長野県飯田市) を終えて  
村上 俊介  
つながりの不思議さ: 飯田市の歴史と社会関係資本 原田 博夫  
飯伊地域の労働市場事情 柴田 弘捷  
飯田市経済の現状と地域経済活性化政策 宮寄 晃臣  
飯田市における再生可能エネルギー開発とその役割 齋藤 雄志  
東南アジア諸国における太陽光発電と小規模水力発電の導入と活用について  
飯田 謙一
- ケーススタディ: 地場伝統産業水引のブランド、  
長野県飯田市 (株) 田中宗吉商店の「御国」 梶原 勝美  
飯田水引と提言 前田 和實  
飯田市の公民館システム 鐘ヶ江晴彦  
飯田・下伊那における地域規模と地域振興 飯沼 健子  
飯田市の都市政策の課題—リンゴ並木が原点 福島 義和  
市田柿の生産、販売活性化の一事例「かぶちゃん農園」視察報告 望月 宏  
満蒙開拓再考 今井 雅和
- No.613 愛媛県東予地域 4 工業都市の社会・都市構造 (2)  
—今治市、新居浜市、西条市、四国中央市の比較研究— 柴田 弘捷  
Funeral Ceremony as an Embedded Social Capital Katsumi SHIMANE
- No.614 インド・アイルランド関係と大英帝国 堀江 洋文  
中国福建省における社会関係資本の実証的分析 丸茂 雄一
- No.615 IT/グローバル資本主義下の長野県経済再考  
—IT バブル崩壊後の長野県経済— 宮寄 晃臣
- No.616 消費者行動研究における関与研究について 金 成洙
- No.617 鈴木寛 元文部科学副大臣インタビュー:  
教育に関するガバナンスの基本方向、そして文部科学省とのこと 広瀬 裕子

No.618・619 2014 年度夏季実態調査（三陸）特集号

—2014 年 8 月 26 日～28 日—（2014 年 12 月・2015 年 1 月合併号）

- 三陸海岸を巡って — 行程概略 村上 俊介  
津浪(波)避災の諸相 ～被災地での踏査・聞き書きの研究実践から～ 大矢根 淳  
東北震災復興は建設工事と同時に、国民の防災意識教育の向上拠点に 飯田 謙一  
復旧復興の進捗—マクロと現地のズレ— 原田 博夫  
若き財務官僚の「復興の記憶」 佐藤 慶一  
東日本大震災と三陸鉄道 柴田 弘捷  
被災地再訪 —「あの日」の「その後」に関する断章— 高橋 祐吉  
東日本大震災とわが国のエネルギー政策 齋藤 雄志  
東日本大震災復興記念ブランド(仮称)「千年サンマ」のブランディング 梶原 勝美  
遠洋漁業の町、陸前高田市の復興—環境未来都市の選定を受けて 福島 義和  
No.620 望月市民社会論再考 村上 俊介  
No.621 資本とは何か—トマ・ピケティ『21 世紀の資本』を読む— 石塚 良次  
日本のマンガがベトナム青少年の成長に与える影響 ハ・ティ・ラン・フィ  
日越外交関係樹立 40 周年記念シンポジウムより  
日本の高齢化と高齢者の暮らし 馬場 純子

2015 年度

- No.622 ナイジェリアにおける石油戦争—国家・少数部族・環境汚染— 室井 義雄  
No.623 世田谷区「梅丘」の地名由来と小田急線沿線開発 永江 雅和  
胡傑監督『星火』初探 土屋 昌明  
「日清戦争」研究を語る  
—大谷正『日清戦争—近代日本初の対外戦争の実像』（中公新書 2014 年）  
によせて— 大谷 正、菅原 光、前川 亨  
No.624 習近平と文化大革命—現代に落とす文革の影 矢吹 晋  
Civiness in Question:The Case of Women's Activities in Rural Vietnam  
Takeko Iinuma  
Social Safety Net (SSN) in Vietnam:Comparative analysis of two villages in the north and  
south in terms of community-based SSN and the market economy wave  
Junichi INADA

No.625・626 2014年度春季実態調査（ベトナム南部・中部）特集号

—2015年3月11日～17日—（2015年7月・8月合併号）

社会科学研究所 2014年度春季合宿研究会（ベトナム南部・中部）行程

	村上 俊介
転換経済における諸問題	熊野 剛雄
ベトナム日系現地企業の経営者と管理者の従業員の管理に対する意識	
—ベトナム企業における企業調査の序論として—	飯田 謙一
ローエンド製品の開発途上国における製造	
—ブラザーによるベトナムにおける製造活動を中心に—	石川 和男
在ベトナム日系企業の人事管理	柴田 弘捷
ベトナム戦争後のベトナム社会と同国の安全保障政策につき	隅野 隆徳
ケーススタディ：ベトナムのブランド「ハプロ」＜補遺Ⅱ＞	梶原 勝美
2014年度春季実態調査（ベトナム中南部）ミニ・フォトエッセー	
	大矢根 淳、樋口 博美

No.627 満州映画史研究に新しい光を

—「満州国」における日本映画の上映と受容の実態	劉 文兵
<研究ノート>	
荒幡克己『減反廃止：農政大転換の誤解と真実』	
（日本経済新聞出版社、2015年7月）を読んで—	森 宏

No.628 グローバルリテラー東アジアへの成功要因と失敗要因：

経済発展の段階と適応化—標準化戦略を中心に	金 成洙
-----------------------	------

No.629 資本結合をめぐる現理論的諸問題

—証券市場、株式会社、独占・寡占、資本-利子をめぐって—	新田 滋
------------------------------	------

No.630・631 2015年夏季実態調査（北信）特集号

—2015年9月7日～9日—（2015年12月・2016年1月合併号）

2015年度夏季実態調査（北信）行程およびミニ・フォトエッセー	大矢根 淳
北陸新幹線の開通と沿線地域の変容—長野新幹線開通後の15年—	柴田 弘捷
平成大合併の帰結と合併特例措置の「実質的」延長	町田 俊彦
平成大合併に対する再考～長野県小川村を事例に	徐 一睿
長野県の事業所（製造企業）の活性化のための方策	
—減少傾向をたどる製造企業の活性化のために—	飯田 謙一

- 長野県農業と長野ワインに関する一考察  
 ー長野県電機産業の盛衰と関連させてー 宮寄 晃臣  
 国体護持とは何だったのか 原田 博夫  
 ケーススタディ：七味唐辛子の伝統的ブランド「八幡屋磯五郎」 梶原 勝美  
 No.632 胡傑・艾曉明監督『紅色美術』のインタビュー資料およびその分析 土屋 昌明  
 国庫補助金等により造成された基金の特徴と課題 藤井 亮二  
 No.633 イギリスの教育改革における学力向上政策と地方教育行政による改革実践  
 ーハックニー改革を率いたアラン・ウッド講演をもとにー 広瀬 裕子  
 学部生の国際金融の教科書にも書ける、  
 ビットコインを法定通貨にすべきでない理由 小川 健
- 2016年度**
- No.634 シンポジウム：『青森県下北“核”半島の現状と課題』  
 鎌田 慧、伊藤奈々恵、山本 武彦、藤本 一美、末次 俊之
- No.635 人口変動、所得・雇用、税収の3大都市圏・地方圏間格差と東京・大阪  
 町田 俊彦
- No.636 The Making of the Mainstream Discourse of Sex Education in Japan:  
 The Role of a Japanese Periodical Sex Education Today (1972-1983) Hiroko HIROSE  
 Secular Changes in Body Height and Weight of Population in Japan  
 since the End of WW II in Comparison with South Korea Hiroshi Mori
- No.637・638 2015年度春季実態調査（関西）特集号  
 ー2016年3月14日～17日ー（2016年7月・8月合併号）
- 2015年度春季実態調査（関西）行程概要/ミニ・フォトエッセー 大矢根 淳  
 大阪の街を考えるー「いちびり」と笑いー 福島 義和  
 大阪府5地域の産業構成と地域連関について 高橋 義博  
 [ヒアリング報告] 大阪府商工労働部「大阪産業経済リサーチセンター」  
 町田 俊彦  
 「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録事業について 宮寄 晃臣  
 古代日本史における「史観」の変遷 ー百舌鳥・古市古墳群を歩いてー  
 村上 俊介  
 廃藩置県とお城のその後 原田 博夫

地産地消を活用して全国の企業と日本各地の経済発展の促進を

—ヒガシマル醤油の地産地消活動と地方経済活性化努力をその事例として—

飯田 謙一

たつの市の伝統的地場産業—淡口醤油、手延素麺、革産業—  
地域における特産品を取り巻く課題

柴田 弘捷

—「揖保乃糸」と「三輪素麺」を事例として—

石川 和男

ケーススタディ：醤油の老舗ブランド「ヒガシマル」

梶原 勝美

\*調査合宿の合間に

吉田 雅明

No.639 2000年代前半のドイツにおける労働組合と協約自治

—ハルツ改革および法定最低賃金制度との関係から—

栢田大知彦

「働き方改革」の深層—アベノミクスで浮上した論点をめぐって—

高橋 祐吉

No.640 ワイマール期ドイツにおける国家的仲裁制度と協約自治

—自由労働組合における議論を中心に—

栢田大知彦

No.641 前書き

村上 俊介

サステナブルな防災社会構築のための新基軸

～コミュニティにおけるレジリエントな取組事例をめぐって～

大矢根 淳

「日本におけるベトナム研究の視座の変遷」

村上 俊介

近代化する葬儀の諸課題：ベトナムと日本の比較から

嶋根 克己

No.642・643 2016年度夏季実態調査（タイ・ラオス・ベトナム）特集号

—2016年9月11日～17日—（2016年12月・2017年1月合併号）

企画協力者が考えた調査旅行のテーマ

米坂 浩昭

専大社研2016年度夏季実態調査（タイ・ラオス・ベトナム）

行程概要ミニ・フォトエッセー

大矢根 淳

地域統合下のタイ・ラオス・ベトナム国境地域の連結性

飯沼 健子

ダナン市の経済開発と外資導入

原田 博夫

ベトナム・ダナン市の成長戦略とキューバ経済改革の展望

狐崎 知己

農業生産の国際化—ラオスに見るその可能性と展望—

今井 雅和

ラオスにおけるフェアトレードの取り組み

—フェアトレード・コーヒーを中心として—

石川 和男

ラオスにおける ODOP（一郡一品活動）について

飯田 謙一

経済発展（開発）の中のベトナム中央高原

村上 俊介

擬似ブランド：一村一品、地域ブランド、GI ブランド（地理的表示保護制度）

梶原 勝美

Katu 族の棺

嶋根 克己

ポール・クロードルの見た 1920 年代のフランス領インドシナ

根岸 徹郎

No.644 政府間財政関係における集権と分権の諸課題—理論と実際—

町田 俊彦、張 忠任

Stature: Key Determinants of Positive Height Trends—

The Cases of Japan and South Korea

Hiroshi Mori

No.645 公開シンポジウム 格差の諸相—「分断社会」を越えて（2016 年 11 月 26 日）

分断社会を終わらせる—『だれかが受益者』から『だれもが受益者』へ—

井手 英策

統計で発見する日本の格差—その量と質を問う—

福島 利夫

非正社員とは何者か？—身分化した雇用をめぐる—

高橋 祐吉

現代日本における相対的貧困—困窮の諸相に見る『貧困の幅』—

小池 隆生

## 2017 年度

No.646 加重相乗平均の加重相加平均による近似

～関数電卓なしに実効為替レートは近似計算可能か～

小川 健

琉球弧に見る非暴力抵抗運動～奄美と沖縄の祖国復帰闘争史～

中村 尚樹

No.647 人口・生産活動の「首都圏集中」と政府間財政関係—日本と韓国の比較—

町田 俊彦

No.648 生産・流通構造の再編に向き合う横編ニットメーカーの試みと

その構造的位置づけ

勝俣 達也

導入時期における柔軟な主題設定の重要性—主体的な歴史学習を促すために—

増田 純一

No.649・650 2016 年春季実態調査（釜山—対馬—福岡）特集号

—2017 年 3 月 14 日～18 日—（2017 年 7 月・8 月合併号）

専大社研 2016 年度春季実態調査（釜山—対馬—福岡）行程概要ミニ・フォトエッセー

大矢根 淳

対馬・釜山ボーダーツーリズム

～実現までの取組から見てきたボーダーツーリズム普及・展開への課題～

島田 龍



	釜山と対馬における朝鮮通信使の遺跡を辿る	魏 聖銓
	九州および韓国「東南圏」の人口・域内生産の動向	町田 俊彦
	国境離島対馬の住民と就業の場	柴田 弘捷
	消滅可能性都市の衝撃と地域おこし協力隊の活動	
	一長崎県対馬市における「島おこし協働隊」を中心に一	石川 和男
	日露戦争と対馬	原田 博夫
	玄界灘を渡ってー2017年春、釜山、対馬、大宰府ー	高橋 祐吉
	福岡ー釜山超広域経済圏視察調査に参加して	飯田 謙一
	社研合宿特別研究会 2013ー2016年度	村上 俊介
No.651	The Effect of Environmental Regulation on Technological Advancement: Based on Empirical Analysis of Chinese Provincial Panel Data	孫 文遠、徐 一睿
	日本の「国土形成計画」・韓国の「広域発展ビジョン」と日韓超広域経済連携	町田 俊彦
No.652	どうして日本の若者は身長で韓国の若者に追い越されたのだろうか 一民族差を超えて	森 宏
	書評 原伸子著『ジェンダーの政治経済学』	中根 康裕
No.653	The Nature of the UK Household Consumption System Underlying Factors	Kenji Tokuda
No.654・655	2017年度夏季実態調査（北前船の足跡をたどる）特集号 一2017年9月10日～13日一（2017年12月・2018年1月合併号）	
	専大社研 2017年度夏季実態調査「北前船の足跡をたどる」行程記録	樋口 博美
	北海道各地のブドウ栽培・ワイン醸造・ワイン販売から学ぶ地域性	宮寄 晃臣
	北海道のワイン生産と、我が国のワイン市場の特性について	飯田 謙一
	鉄のまち・室蘭市の盛衰と再生	柴田 弘捷
	商取引活動遺産による地域活性化	石川 和男
	街並みの破壊と保存ー小樽と江差	村上 俊介
	江差追分異聞	池本 正純
No.656	日本のカメラ産業の競争力分析	望月 宏
	株式会社ニコンの歩みー光学機器産業から精密機器産業への展開ー ＜研究ノート＞	小原理 一郎
	「総合光学機器」メーカーの分析 その1 株式会社タムロン	溝田 誠吾

- No.657 ラディカルな教育再生を軸にした地域再生  
 —ロンドン・オリンピックのホスト地ハックニー区の改革— 広瀬 裕子  
 石巻市中心市街地における復旧・復興経過から学べること 福島 義和
- No.658 地ビール業発展小史とその現況 水川 侑

## 2018年度

- No.659 青森県の初代民選知事：津島文治 —“井戸堀政治家”の歩み 藤本 一美
- No.660 調査報告 復興ステークホルダーの探索的再構築に関する研究実践  
 —被災地・石巻での聞き取り調査から—  
 所澤新一郎、佐藤 慶一、大矢根 淳
- No.661・662 2017年度春季実態調査（大阪）特集号  
 —2018年2月28日～3月3日—（2018年7月・8月合併号）
- 社会科学研究所 2017年度春季実態調査 大阪の底 行程記録 樋口 博美  
 大阪の産業構成の歴史的展開と地域的特性 高山 正樹  
 大都市財政・大阪市財政の特徴 —東京都特別区との比較で— 町田 俊彦  
 戦前期日本タオル工業の生成・発展—泉州と今治の比較を念頭において—  
 川村 晃正  
 泉州タオル産業の盛衰と現況 柴田 弘捷  
 JAPANブランド「泉州こだわりタオル」の現状と課題 神原 理  
 わが国のタオル生産と事業承継 —大阪府泉佐野市を中心として— 石川 和男  
 ダイハツ・ヒューモビリティ・ワールド訪問記 鈴木奈穂美  
 大阪西成地域（通称、釜ヶ崎）とNPO法人“釜ヶ崎支援機構”について  
 飯田 謙一  
 釜ヶ崎の守護神「カマヤん」と「カフカの階段」その後 福島 利夫  
 釜ヶ崎の街は本当に福祉の街なのか？ 福島 義和  
 大阪ワインの底力 宮寄 晃臣
- No.663 貧困認識と規定要因としての「農村的生活様式」  
 —岩手県内自治体住民に対する意識調査結果から 小池 隆生
- No.664 価値形態論の上着は30万円 望月 清司
- No.665 イノベーション創出都市 変貌する深川 遠山 浩  
 大阪市と東京都特別区の財政比較 町田 俊彦

	新しい方向性を探る財政投融资制度	
	一政策遂行手段としての重みを増す財投一	藤井 亮二
No.666	特集 戦中史から国体論 一現代日本の古層一	
	『戦中史』と『国体論』を貫くもの	恒木健太郎
	「戦中史」に於ける「国体」と天皇制	福井 紳一
	講座派の問題設定の特徴と課題について	
	——『国体論』に対する恒木健太郎氏の議論に寄せて——	白井 聡
No.667・668	2018年度夏季実態調査（北前船の足跡をたどる Part2	
	東北日本海側：秋田～山形～新潟一）特集号	
	—2018年9月3日～7日—（2019年1月・2月合併号）	
	社会科学研究所 2018年度夏季実態調査 北前船の足跡をたどる Part 2	
	一東北日本海側：秋田～山形～新潟—行程記録	樋口 博美
	TDK株式会社と地域貢献マーケティング	
	一齋藤憲三と故郷との関わりを中心に—	石川 和男
	劇画に投影された河村瑞賢——白土三平『カムイ伝』の夢屋七兵衛をめぐる	
		根岸 徹郎
	秋田と東北各地域の観光とインバウンド誘致対策について	飯田 謙一
	庄内たがわ農業協同組合月山ワイン山ぶどう研究所について	宮寄 晃臣
	小鵜飼船に乗せられた青苧と木綿	
	一最上川から見た商品経済進展のダイナミズム—	池本 正純
	明治初年新潟小澤家の北前船ビジネスの一齣	川村 晃正
	晩夏の日本海紀行	高橋 祐吉
No.669	川崎市税制の特徴と推移	原田 博夫
	台湾ベンチャー・ビジネスの動向とベンチャー・キャピタル	
	一台湾企業のベンチャー型創業とベンチャー・キャピタルの役割—	荒井 久夫
<b>2019年度</b>		
No.670	「カメラマウントの変遷と今後のミラーレスカメラの動向」	望月 宏
	日本のカメラ・光学産業の進化プロセス	
	一ニコンとキヤノンにみる事業拡大戦略の変遷とその課題—	笠原伸一郎
	グローバル化時代における光学機器産業の復権と発展	小原理一郎
	科学技術の進歩とカメラ産業の変遷	池田 英生

- No.671 日本<sup>の</sup>山岳信仰と温泉 鈴木 健郎  
 草津の温泉文化——湯治・ハンセン病・被差別部落—— 川上 隆志  
 日本<sup>の</sup>《発見》——西欧人／日本人による《旅行》と明治・大正期のガイドブック  
 ～ポール・クローデルの目に映った 1898 年と 1920 年代の間の日本を例として  
 根岸 徹郎
- No.672 調査報告 減災サイクルのステークホルダーと事前復興への取り組みの実相（Ⅰ）  
 ——被災地石巻での聞き取り調査から：「仮設住宅」生活を射程に——  
 所澤新一郎、大矢根 淳  
 外部支援者が介在した被災コミュニティ回復の模索と課題  
 ——阪神・淡路大震災から東日本大震災へ、そして未被災地の事前復興へ——  
 三澤 一孔、大矢根 淳
- No.673 高度経済成長期における総合商社の商取引に関する歴史分析：三井物産を事例に  
 谷ヶ城秀吉  
 日本<sup>の</sup>の若者は 2000 年代に入って韓国<sup>の</sup>の若者に身長で追い抜かれた  
 ——台湾<sup>の</sup>の歴史的統計を勘案すると遺伝的差ではない 森 宏
- No.674 A working paper on the local land access arrangement in rural Nigeria  
 Regina Hoi Yee FU  
 「場所形成 (place - making)」の思想と「カイロス」の時間  
 ——都市の周辺世界鶴見・潮田の思想の水脈—— 広田 康生
- No.675・676 2018 年度春季実態調査（スリランカ）特集号  
 ——2019 年 2 月 28 日～3 月 9 日——（2019 年 9 月・10 月合併号）
- 社会科学研究所 2018 年度春季実態調査（スリランカ）行程記録 飯沼 健子  
 孤立と対話に揺れるムスリム住民 中村 尚司  
 データでみるスリランカ経済の現状と課題 高橋 義博  
 中国「一带一路」事業のスリランカへのインパクトとその評価 稲田 十一  
 スリランカの港湾整備と債務の罟を考える 徐 一睿  
 「セイロンティ」にいたる欧州諸宗主国の植民地主義の変遷とその残滓  
 宮寄 晃臣  
 民間企業による女性のエンパワーメントの可能性  
 —— MAS Holdings 社の事例を参考に —— 飯沼 健子

- 市場変化によるわが国製造業の製造拠点管理  
 —スリランカにおけるノリタケの事業活動を中心として— 石川 和男  
 スリランカにおける尾道造船コロomboドックヤードの位置づけとその事業展開  
 —Colombo Dockyard PLC 見聞記録から— 樋口 博美  
 スリランカの視覚障がい者支援の社会的企業  
 — Thusare 指圧院の活動に関して — 飯田 謙一  
 足手まといのスリランカ紀行 池本 正純
- No.677 特集：リスク選択とデモクラシー  
 特集「リスク選択とデモクラシー」に寄せて 恒木健太郎  
 開戦の意思決定をしたのは誰か 定藤 博子  
 日米開戦と「正確な情報」 牧野 邦昭  
 戦争回避の可能性をめぐる歴史的想像力 井上 寿一  
 戦争回顧の新ステージ —— 公定理解を刷り込みの先に 菅原 光
- No.678 東日本における夏秋養蚕業の発展と繭価動向  
 —1900年代半ばの「繭市場統合説」の再検討(2)— 高梨 健司  
 佐藤忠男とアジア、そして中国映画 劉 文兵
- No.679・680 2019年度夏季実態調査（北前船の足跡をたどる Part3—北陸：  
 佐渡～富山～高岡～金沢—）  
 —2019年9月2日～6日—（2020年1月・2月合併号）  
 社会科学研究所 2019年度夏季実態調査 北前船の足跡をたどる Part 3  
 —北陸：佐渡～富山～高岡～金沢—行程記録 樋口 博美  
 北前船をとおした地域活性化の取り組み— 佐渡市を中心として — 神原 理  
 世界文化遺産登録に向けた活動  
 —新潟県佐渡市と神奈川県鎌倉市を比較して— 石川 和男  
 越中富山の薬売り— 富山の配置薬産業と「売薬さん」— 柴田 弘捷  
 昆布と富山売薬商— 北前船が運んだ倒幕のエネルギー — 池本 正純  
 晩夏の佐渡紀行 高橋 祐吉
- No.681 カタルーニャ独立プロセスと社会契約の破綻  
 狐崎 知己、イバン・ゴンザレス・プジョル  
 Estado actual del juicio contra el “procés” Ivan González Pujol

2020 年度

- No.682 戦後青森県の市長選挙と歴代市長 ③ 藤本 一美  
片倉越後製糸株式会社の株主分析 (補論) 高梨 健司
- No.683 <研究ノート> 産業集積と地域企業の今後を考える  
—企業城下町型集積と産地型集積にみる考察— 遠山 浩  
書評『望月清司論文選 ドイツ史・マルクス・第三世界』(日本評論社、2019年)  
村上 俊介
- No.684 調査報告 減災サイクルのステークホルダーと事前復興への取り組みの実相(II)  
—被災地石巻での聞き取り調査から：(脱)仮設・「復興」から日常への収斂—  
所澤新一郎、大矢根 淳  
Historical origin and customary land tenancy of rural community in Nigeria  
Regina Hoi Yee Fu
- No.685 韓国の男子学校生徒の身長—成長速度に即して日本との比較 森 宏  
都市化時期を考慮した川崎市の居住地域構造の検討 小泉 諒  
新たな産業施策の黎明期～【川崎モデル】の基盤を構築する 伊藤 和良  
川崎市の市民活動の現状—(公益)かわさき市民活動センターの事業から見る—  
犬塚 裕雅  
介護保険制度改革がもたらした介護の変化 鈴木奈穂美
- No.686・687 2019 年度春季実態調査 (北九州・佐賀) 特集号  
—2020年2月25日～29日— (2020年8月・9月合併号)  
社会科学研究所 2019 年度春季実態調査  
北九州・佐賀の急加速と蝸牛の如き産業変化  
—北九州～久留米～武雄～伊万里～有田—行程記録 樋口 博美  
北九州市産業構造の推移と現状 宮寄 晃臣  
戸畑婦人会による公害反対運動から得られる示唆 神原 理  
カーアイランド九州の形成とエンジン工場 長尾 謙吉  
西肥前陶磁器と商人活動—伊万里津における商業活動を中心として— 石川 和男  
国姓爺が仕掛けたイマリ開発  
—イマリはアジアへの輸出商品として誕生した— 池本 正純
- No.688 <研究ノート> 学部学生のためのプロジェクトマネジメントにおける  
コミュニケーションと実践的課題  
—ステークホルダーとチームデベロップメントの関連から— 小林 守

- 医療・警備分野に見る遠隔操作技術と5G 中村 尚樹
- No.689 「暮らしと知識の総合的把握の試み…その素描的な草案の控え」 渡部 重行  
胡傑監督『星火』の構成と意義 土屋 昌明
- No.690 中国における再エネ普及策の特徴  
——エネルギー・汚染・貧困対策としての農林バイオマス——  
徐 一睿、佐藤 一光、吉弘 憲介  
再否決された「大阪都構想」と大都市制度改革の課題 福島 義和
- No.691・692 専修大学社会科学研究所 2020年度公開シンポジウム  
日本学術会議任命拒否問題をめぐって  
司会：白藤 博行  
登壇者：岡田 正則、小澤 隆一、佐藤 学、晴山 一穂、廣渡 清吾  
「日本学術会議任命拒否問題をめぐって」の司会を終えて 白藤 博行  
内閣府日本学術会議事務局  
「日本学術会議法第17条による推薦と内閣総理大臣による任命との関係」
- No.693 ASEAN域内の国際労働力移動と地域ガバナンス  
——タイと後発加盟国をめぐって—— 飯沼 健子  
専修大学社会科学研究所 座談会（オンライン）村上俊介先生に聞く—社研35年—  
語る人 村上 俊介  
司会 宮寄 晃臣

## 2021年度

- No.694 外部環境変化による小売業の試練と対応力 —食品小売業を中心として—  
石川 和男
- No.695 日本映画の受容にみる中国人の市民意識の変化  
——ネット時代の中国社会の「小市民化」—— 劉 文兵
- No.696 ベトナム投資環境の変遷と展望  
—1990年代～2010年代の実査からの考察— 小林 守
- No.697 「コロナ下」での一斉休校—その時何があったのか（1）  
—東京都公立中学校校長小澤雅人氏ヒアリング記録 その1— 広瀬 裕子

No.698・699 専修大学社会科学研究所 2020 年度春季実態調査

(北前船の足跡をたどる Part4 ―加賀～福井～京都～大阪―) 特集号

2021 年 3 月 24 日～27 日 (2021 年 8 月・9 月合併号)

社会科学研究所 2020 年度春季実態調査

北前船の足跡をたどる Part4 ―加賀～福井～京都～大阪― 行程記録

樋口 博美

福井県眼鏡産業の生成・展開と断続的環境変化

―地域産業集積における事業活動の継続―

石川 和男

企業家レオ・メラメド：シカゴで金融先物を創始したイノベーター

池本 正純

日本の眼鏡産業と産地福井・鯖江の盛衰

―鯖江のフレームメーカーの動向―

柴田 弘捷

仲春の加賀・越前・若狭紀行

高橋 祐吉

北前船の組織・情報・インセンティブ

高橋 義博

今城塚古墳から古代王権を考える―継体即位の歴史的位相―

宮寄 晃臣

No.700 社研月報 700 号

～コロナ禍下、デジタル／オンライン化が進められて～

大矢根 淳

コロナ禍の財政運営と政府間財政関係

―臨時交付金と財政調整基金の視点から―

徐 一睿

埼玉県 NPO と市民活動

―新型コロナウイルス感染拡大第 1 波から 1 年間の様子―

鈴木奈穂美

「コロナ下」での一斉休校 ―その時何があったのか (2)

―東京都公立中学校校長小澤雅人氏ヒアリング記録 その 2―

広瀬 裕子

日本における最低賃金の現状と失業への影響

山縣 宏寿

「専修大学社会科学研究所月報目録」

『専修大学社会科学研究所月報』の執筆者索引 (50 音順)